



埼玉県立図書館
ウェブサイトQRコード

日本の推理小説の調べ方

～江戸川乱歩を例にして～



目次

- 1 図書を探す
 - (1) 基本的な情報を調べる
 - ア. 人物について調べる
 - イ. 作品について調べる
 - (2) テーマに関する資料を調べる
 - ア. 推理小説について調べる
 - イ. 作品について調べる
 - ウ. 特定の小説家について調べる
- 2 雑誌を探す
- 3 インターネットで探す

明治時代に翻訳小説として日本に入ってきた推理小説。探偵小説がその源流と言われ、現在では、本格派や社会派、警察小説など様々なジャンルが存在し、多くの人に親しまれています。

名探偵明智小五郎を生み出し、少年探偵団シリーズなど大人から子どもまで幅広い年代に読まれている、江戸川乱歩を例に、日本の近現代の推理小説の探し方をご案内します。

キーワード例：推理小説／ミステリー／探偵小説／作家名（江戸川乱歩）／作品名（『二銭銅貨』など）／登場人物（明智小五郎など）

アイコンの説明



参考図書



図書



雑誌



インターネット情報

1 図書を探す

(1) 基本的な情報を調べる

ア. 人物について調べる

＊まず、江戸川乱歩がどんな人物か調べていきましょう。



『講談社日本人名大辞典』（上田正昭／〔ほか〕監修 講談社 2001）



『20世紀日本人名事典』全2巻（日外アソシエーツ 2004）

*人名辞典・事典で調べると、江戸川乱歩が大正・昭和時代の推理作家であり、本名が平井太郎であるということがわかります。人物について調べていく上で肩書は重要なキーワードとなり、さらに詳しく調べるために必要なヒントを見つけることができます。

*江戸川乱歩が作家であることが分かったので、文学関連の辞典・事典を調べて、人物について理解を深めていきましょう。



『新潮日本文学辞典 増補改訂』（磯田光一／〔ほか〕編 新潮社 1988）

日本文学について、人名、作品名、新聞・雑誌名、文芸用語などから調べることができます。年表や文学賞受賞者一覧、全国主要文学館なども掲載し、文学全般について理解することができます。



『日本現代文学大事典 人名・事項篇』（三好行雄／〔ほか〕編 明治書院 1994）

近現代の日本文学の作家 2384 名、事項 411 項目について解説しています。他に「作品篇」もあり、3394 点の作品について調べることができます。



『作家・小説家人名事典 新訂』（日外アソシエーツ 2002）

日本人を中心に近現代において活躍した小説家の他に、戯曲・シナリオ・児童文学などフィクションの分野の作家、および一部のノンフィクション・ルポルタージュ作家を収録しています。



『作家研究大事典 明治・大正・昭和』（作家研究大事典編纂会／編 桜楓社 1992）

日本の小説家・評論家・詩人・歌人・俳人など 260 名の作家概要、研究の概要、参考文献を調べることができます。



『人物レファレンス事典 文芸篇』（日外アソシエーツ 2010）

国内で刊行された人物事典、歴史事典、百科事典、地域別人名事典に掲載されている、文芸関係者の総索引です。233 種 394 冊の事典から、古代から現代までの日本で活躍した作者・作家など 21119 人を収録しています。



『ペンネームの由来事典』（紀田順一郎／著 東京堂出版 2001）

日本の近代文学の作家を対象に、雅号、筆名の由来を調べることができます。

イ. 作品について調べる



『作品名から引ける日本文学作家・小説家個人全集案内』（日外アソシエーツ 1992－2019）

第3期まで出版されています。国内で刊行された明治以降の日本作家・小説家の個人全集・集・作品集などを、作品名から調べることができます。



『作品名から引ける日本文学全集案内』（日外アソシエーツ 1984－2018）

第3期まで出版されています。国内で刊行された近代日本文学に関する全集・アンソロジーに収載されている作品を、作品名から調べることができます。



『作家名から引ける日本文学全集案内』（日外アソシエーツ 1984－2019）

第3期まで出版されています。国内で刊行された日本文学に関する全集・アンソロジーに収載されている作品を、作家名から調べることができます。



『日本の小説全情報』（日外アソシエーツ 1991－2006）

日本の小説・戯曲を作家ごとに一覧できる作品目録です。短編集・選集・アンソロジーなどに収録されている作品まで掲載しています。



『日本人物文献索引 文学』（日外アソシエーツ 1994-2021）

日本文学作家に関する図書・研究文献等の文献目録です。古代から現代までの歌人、俳人、詩人、小説家、劇作家などについて、研究動向や成果を把握できます。大学・短大の紀要類や専門誌、研究同人誌も収録対象としています。



『日本現代小説大事典 増補縮刷版』（浅井清／編、佐藤勝／編 明治書院 2009）

ノンフィクションや伝記、自伝なども含めた日本の近現代の小説を、作家項目と作品項目から調べることができます。作品項目には、そのあらすじやみどころも掲載されています。

（2）テーマに関する資料を調べる

ア．推理小説について調べる



『日本推理小説辞典』（中島河太郎／編 東京堂出版 1985）

作家や用語から推理小説について調べることができる辞典です。推理小説年表が付属されているので、年代順に作家や作品を追うことができます。



『日本ミステリー事典』（権田萬治／監修、新保博久／監修 新潮社 2000）

作家、探偵、作品、用語の4つの項目に分け、基礎知識から初公開情報まで、日本ミステリーの謎が次々明かされるミステリー百科です。



『日本探偵小説事典』（江戸川乱歩／著、新保博久／編、山前譲／編 河出書房新社 1996）

推理小説作家でありながら、名編集者でもあった江戸川乱歩が、雑誌『宝石』編集時代に膨大に残した、作家・作品案内をもとに、ほとんど単行本未収録の文章で構成した乱歩版探偵小説秘史です。



『探偵小説百科』（九鬼紫郎／著 金園社 1986）

探偵小説の源流や日本・海外の探偵小説の歴史について解説しています。日本や海外の作家

紹介のほかに、ジャンルやトリックについての解説があり、探偵小説全般について知ることができます。



『名探偵事典 日本編』（郷原宏／著 東京書籍 1995）

日本の推理小説に登場する名探偵に焦点を当てた事典です。警察関係や検事・弁護士などジャンルごとに名探偵の名前から調べることができます。作者の他に経歴や特徴、性格、代表的な事件などを収録しています。

イ. 作品について調べる



『作家名から引く短編小説作品総覧 日本のミステリー』（日外アソシエーツ 2018）

他に、「海外小説」と「日本の SF・ホラー・ファンタジー」があります。短編小説の作家名から、作品名と収録図書を調べることができる図書目録です。2009 年から 2017 年 9 月に刊行された図書 1955 点に収録された日本のミステリー分野の 8523 作品を、609 人の作家別に収録しています。



『日本のミステリー小説登場人物索引 2001-2011』（DB ジャパン 2013）

「単行本篇」と「アンソロジー篇」があり、国内で刊行された日本のミステリー小説に登場する主な登場人物を採録した登場人物索引です。のべ 19814 人を収録しています。

ウ. 特定の小説家について調べる

*江戸川乱歩のように著名な作家の場合、個人に関する辞典・事典が出版されていることがあります。より詳細に作家について知りたい場合に役に立ちます。



『江戸川乱歩大事典』（落合教幸／〔ほか〕編 勉誠社 2021）

「人間乱歩」「社会」「ミステリー」「メディア」の 4 つの項目に分けて、江戸川乱歩とその生きた時代について解説しています。



『江戸川乱歩小説キーワード辞典』（平山雄一／著，新保博久／監修，山前譲／監修 東京書籍 2007）

人物、場所、物、用語、造語など、乱歩小説を読み解くためのあらゆるキーワードとその関連性を網羅した辞典です。



『江戸川乱歩著書目録』（平井隆太郎／監修 名張市立図書館 2003）

大正 14 年から平成 13 年の間に刊行された江戸川乱歩の著書を出版年ごとに掲載した目録です。



『江戸川乱歩執筆年譜』（平井隆太郎，中島河太郎／監修 名張市立図書館 1998）

江戸川乱歩の 43 年にわたる文業を小説と非小説に大別して収録した作品目録です。



『幻影の蔵 江戸川乱歩探偵小説蔵書目録』（新保博久／編著，山前譲／編著 東京書籍 2002）

乱歩の遺した膨大な蔵書をミステリー評論家の新保博久と山前譲が一挙に紹介しています。江戸川乱歩の著作一覧表も掲載されています。

*江戸川乱歩は、少年探偵団シリーズなど児童向けの著作もあるので、県立図書館の子ども室にも、江戸川乱歩に関する本の所蔵があります。



『謎と魔法の物語 自作に関する解説』（江戸川乱歩／著 河出書房新社 1995）



『江戸川乱歩の「少年探偵団」大研究』上・下巻（平井憲太郎／監修 ポプラ社 2014）

2 雑誌を探す

*次に推理小説に関する雑誌を調べてみましょう。近現代に発行された雑誌を調べるための目録と県立図書館で所蔵している雑誌をご紹介します。



『探偵雑誌目次総覧』（山前譲／編、ミステリー文学資料館／監修 日外アソシエーツ 2009）

1920年代～60年代に出版された日本の探偵小説雑誌、35誌 1186冊の小説・脚本・随筆などの内容細目を収載しており、各雑誌の詳細な解題を記載しています。雑誌の成り立ちから終刊の経緯までが詳しくわかります。



『推理小説雑誌細目総覧 昭和20年代篇』（山前譲／編 推理小説文献資料研究会 1985）
戦後創刊された推理小説雑誌の中から、昭和20年代に刊行された雑誌の概要と各号の目次を記載した目録です。



『文芸雑誌小説初出総覧 1945-1980』（日外アソシエーツ 2005）

文芸誌、小説誌、総合誌などに掲載された現代作家の小説・戯曲を調査した図書です。作家別・年代順に編成されており、「1981-2005」も刊行されています。他に、作品名から引ける「作品名篇」と、翻訳小説を集めた「翻訳小説篇」もあります。



『新青年 復刻版』（本の友社）昭和2年合本1～昭和13年合本2所蔵。【禁帯雑誌】

探偵小説専門誌ではなく娯楽総合雑誌ですが、江戸川乱歩や横溝正史など多くの探偵小説作家の活躍の場となっていた雑誌です。大正年代も刊行しています。



『幻影城』（幻影城）1975年8月号～1979年7月号所蔵。一部欠号あり。【禁帯雑誌】

1975年から1979年まで発行されていた探偵小説専門誌です。

📖 『ジャーロ』(光文社) 2000 年秋号～2009 年秋号所蔵。一部欠号あり。【禁帯雑誌】
2000 年に創刊されたミステリー小説の専門誌です。2016 年より電子雑誌となっています。

📖 『小説推理』(双葉社) 1980 年 4 月号～2019 年 2 月号所蔵。一部欠号あり。【禁帯雑誌】
1961 年創刊の『推理ストーリー』が、1969 年改題の『推理』を経て、1973 年より現在の『小説推理』となった雑誌です。推理小説だけではなく、時代小説や SF 小説も掲載しています。

3 インターネットで調べる

*近現代の図書・雑誌、人物について調べる上で、参考になるサイトをご紹介します。

🖥️ 《国立国会図書館サーチ》(<http://iss.ndl.go.jp/> 国立国会図書館)
国立国会図書館が所蔵する全ての資料をはじめ、全国の公共図書館、公文書館、美術館や学術研究機関等が所蔵する資料を検索できます。

🖥️ 《Webcat Plus》(<http://webcatplus.nii.ac.jp/> 国立情報学研究所)
江戸期前から現代までに出版された書物を全国の大学図書館や国立国会図書館の所蔵目録など様々な情報源を統合して提供しているサイトです。文章から連想する「連想検索」や作品や人物などのキーワードから検索する「一致検索」で検索できます。

🖥️ 《日本近代文学館》(<https://www.bungakukan.or.jp/> 日本近代文学館)
日本近代文学および現代文学に関する各種資料を収集する文学専門資料館です。所蔵している資料は、図書・雑誌・新聞のほか、原稿や書簡、日記など多岐にわたります。所蔵している図書・雑誌が検索できるほか、資料写真の検索もできます。

🖥️ 《青空文庫》(<https://www.aozora.gr.jp/> 青空文庫)
著作権が消滅した作品や著者が許諾した作品のテキストを公開しているインターネット上の電子図書館です。作品名、作家名から探すことができます。

🖥️ 《近代日本の肖像》(<https://www.ndl.go.jp/portrait/> 国立国会図書館)
近代日本の形成に影響あった政治家、官僚、軍人、実業家、学者、芸術家など 800 名以上の肖像写真を紹介しています。

発行：埼玉県立久喜図書館 芸術・文学資料担当
久喜市下早見 85-5 Tel:0480-21-2659